

上尾市学校施設更新計画基本計画見直しに係る説明でいただいたご意見・ご要望及びそれに対する市の考え方(回答)

No.	ご意見・ご要望など	市の考え方(回答)
001	・市民アンケート18歳以上は対象3,000人とのことだが、数は十分なのか。	回収率30%において、信頼度95%、許容誤差5%である。十分なサンプルは確保できるので統計学上信頼性の低いものではないと考えている。
002	・回収率をどれくらいと想定しているのか。	市の他の無作為アンケート調査を参考にすると50%程度と考えている。
003	・学校ごとの説明会は予定しているのか。	見直しにおいては、市民への周知として、今回のアンケートをはじめ、基調講演会やワークショップ、公聴会、パブコメを予定している。
004	・基調講演会の日程や場所は決まっているのか。	現在の予定では11月12日に文化センターで開催できるよう、準備を行っている。
005	・基調講演会には、どのような方が参加できるのか。	郵送アンケートにおいて、市民参加の企画への参加希望者を募っており、その方を対象に考えている。他の募集方法についてはまだ検討段階であるが、学校の保護者の方も参加できるよう検討していく。
006	・講演会の講師は決まっているのか。	東洋大学名誉教授の長澤悟教授と調整を行っている。こちらの教授は学校建築等の計画・設計に携わっており、文部科学省の新しい学校施設のあり方を検討する部会の会長を務めた方である。
007	・計画を広く周知するためにも、基調講演会などZoomで生配信をしても良いのではないかと。	周知する一つの手法であるので、検討させていただく。
008	・小学生(5・6年生)にもアンケートを実施するとのことだが、子供に回答できる内容か。	児童アンケートは、例えば「現在のクラス数」であったり「現在の通学距離」であったり、現状を答えるような質問が多くなっている。作成には、小学校教員である教育委員会指導課の職員も関わっており、答えやすいように作成している。